

(平成 29 年 8 月試験研究業務月報)

試験研究課題:沿岸漁場環境のリアルタイムモニタリングによる温暖化の影響評価(漁場特性の研究)

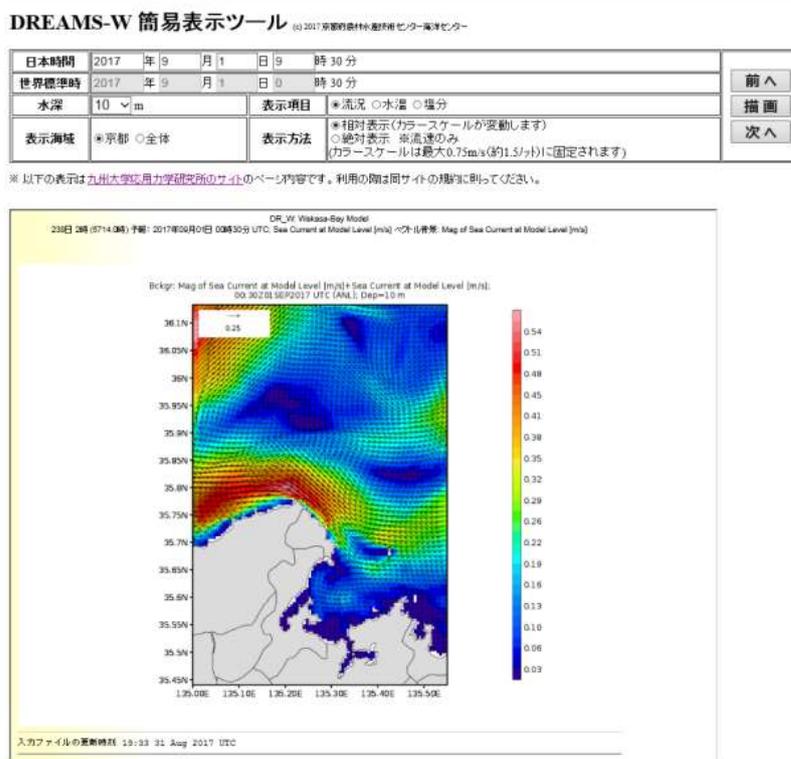
研究

## 日本海流況モデル「簡易表示ツール」の開発

当センターでは、急潮<sup>\*</sup>による定置網の漁具被害を防止するために、九州大学などと共同で日本海の流れのシミュレーションモデル（以下、流況モデル）を開発し、急潮の発生予測に役立ててきたところです。この流況モデルはインターネット上で公開されていますが、研究者向けで操作が煩雑なため、これまで、漁業者にはあまり利用されていませんでした。そこで、表示の日本語化やよく使う機能の専用ボタン設置など、外見や操作をシンプルにした「簡易表示ツール」を開発し、漁業者が簡単に閲覧できるようにしました。現在、多くの定置網漁業者が本ツールを活用して流れの状況を確認し、急潮被害防止に活用しています。

日本海の流れの情報は、定置網だけでなく底びき網や釣漁業などの効率的な操業にも役立ちますので、多くの漁業者に積極的に利用していただけるよう、今後も普及に努めていきます。

※急潮(きゅうちょう)：概ね1ノット(秒速50cm)以上の漁具を壊す恐れのある突発的な速い流れ。



「簡易表示ツール」の画面

海洋センター